

平成29年度議会運営委員会行政視察報告

- 1 視察日 平成29年8月1日（火）から2日（水）まで
- 2 視察地 石川県加賀市（面積 305.87km²、人口 67,186人）
・議会活性化（議会改革）に関する取り組みについて
新潟県柏崎市（面積 442.03km²、人口 86,833人）
・市議会におけるタブレット導入について
議会改革について
- 3 参加者 委員長 中村 久信
副委員長 伊藤 幹夫
委員 佐貫 薫
委員 渡邊 孝一
委員 今井 勝巳
委員 大貫 雄二
議長 和田 安司
副議長 宮本 妙子
随行 薄井 勉（議会事務局長）
随行 水沼 宏朗（議会事務局主査）

4 視察概要

矢板市議会は平成27年4月に議会基本条例を施行し、以来市民の皆様により信頼される開かれた議会をめざし、各種取り組みを進めてまいりました。

これまで、議会報告会及び意見交換会の実施や、議会だより紙面の刷新、また、政務活動費については県内各市町に先駆け領収書を含む全ての関係書類をホームページで公開し、更に今年度からは事後交付方式を導入いたしました。

この様な取り組みが評価され、早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革度ランキングは平成26年の579位から平成28年147位と着実に順位を上げてきたところであります。

しかしながら議会改革・議会の活性化について終りはなく、更に推し進めるために先進事例を学ぶべく今回の視察研修を実施いたしました。

今回の主なテーマは「大学との連携」「PDCAサイクルの運用」「タブレット端末の導入」についてであります。

1日目の8月1日は石川県加賀市を、翌2日は新潟県柏崎市を訪問いたしました。

(1) 石川県加賀市（8月1日（火）13：30～15：24）

加賀市は平成23年に議会基本条例を施行し、本会議及び委員会のインターネット中継、議会報告会、女性議会、子ども議会の実施、議会提案の政策条例制定、金沢大学法科大学院との連携協定、PPDCAサイクルの運用、議会だよりモニターの設置、タブレット端末の導入、高校生との意見交換会の実施など、早くから様々な取り組みを実施してきており、平成28年の議会改革度ランキングは全国4位になっています。

今回の視察は、これら一連の取り組みについてご説明を戴いたわけですが、その中で今回の主な目的としていた、金沢大学との連携及びPPDCAサイクルの運営についてご紹介いたします。

金沢大学法科大学院との連携協定の締結は平成27年3月に行っており、その目的は法務の知的資源を有する大学院と市政における意思決定機関の議会が相互に連携協力することで政策課題への適切な対処と地域の発展に寄与するとしています。

具体的な取り組みとして、研修会の実施や講義への出席、学生のインターンシップなどを通して議員提出条例である「いじめ防止条例」の制定に結び付けています。

次にPPDCAサイクルについて申し上げますと、通常のP（プラン：計画）D（ドゥ：実行）C（チェック：検証）A（アクション：改善）のPとDの間にプロセス：手順・経過を追加したものであり、平成27年9月に議決し運用を開始しています。

対象となる行為は議会の審議議決など議会の本流及び議員個人や会派の活動を除いた、議会報告会や政策提言など議会が主体的に行う行為に限定し、事業の進行管理・振り返り・評価・次の目標設定を行なっています。その内容を議会や委員会に報告することによって、議員が自らにプレッシャーをかけ、議員の意識を結集させよりレベルの高い事業に結び付けています。



(2) 新潟県柏崎市（8月2日（水）13：14～15：00）

柏崎市は平成15年に市民と市及び議会の役割と責任を明らかにした「市民参加のまちづくり基本条例」を制定し、これまで議会基本条例の制定や議会報告会の実施、通年議会の実施、タブレット端末の導入など様々な議会改革に取り組んでいます。

今回の主な目的としていたタブレット端末の導入については、当局に先駆け議会独自で導入しており、ペーパーレスによる紙資料の削減や事務連絡の効率化による労力の低減、通信運搬費の低減などの実績を上げています。

また、得手不得手のある議員各位もそれぞれの努力によって使いこなし、情報取得の迅速化、情報の共有化など、



議員活動の効率化を図っていると感じた次第であります。

今回の視察で得た様々な情報を議会内で共有し、議員全員が一丸となって矢板市議会にとってより良い方向性を見出し、市民の皆様の高い信頼が得られるよう改革を進めてまいります。以上報告を終わります。